## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

						Ė	なSDGs	(17ゴ-	-ルと16	9ターゲッ	ト)関連項	目
カテ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4	5	6 7	8 9	10 11	12 13	14 15 16 17
ゴリ	当	, = , , <b>, , , , , , , , , , , , , , , ,</b>	レベル	併业で記載してノギナル )	1 100 2 100 ((() () () () () () () () () () () () (	3 BETTONE 4 THE MET.	5	7 stand-stands	### B###	10:227	13 11444	15 mm 16 mm 17 mm 17 mm 18 mm 18 mm 19 mm
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差 別がないことを確認している	基本	各現場責任者を中心に管理・教育を行い、それを基に経営者が集 約をしながら雇用・教育・福利厚生等従業員の声に積極的に耳を 傾けながら関与している。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3		16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	全体会議や安全委員会でコンプライアンス研修を通して、相談体制の構築を行う。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8			16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法を基に改正内容等経営者・各現場担当責任者で共有 し、休日出勤が伴う場合、振替休日の徹底を図り従業員の体調管 理を図る。					8.5 8.8			
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	当社は現在外国人労働者の雇用は無いが、言語·習慣等差別が 起こらない様、外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備 を心掛けている。		4.4			8.7 8.8	10.2 10.3		
5 人		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	社員向けの労働安全委員会を実施し、従業員と情報を共有をしながら安全で衛生的な環境体制を構築する。		3			8			
労 6 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスに関する方針や計画の策定,従業員のアンケートを実施。		3						
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取 り組んでいる	基本	現在、20代~60代と幅広く雇用し、女性から高齢者まで多様な労働環境を提供しており、従業員の安全に配慮しながら職場環境を提供している。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3		
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	新入社員から教育訓練を徹底し、資格取得の支援を行う等、各従 業員のスキルアップに力を入れている。		4	5.5		8 9	)		
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働契約法等改正内容を経営者·各現場で共有し、同一労働同 一賃金の原則に沿った体制を構築。			5.5		8.5	10.2 10.3		
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】都道府県協会けんぽに「健康づくりチャレンジ宣言」を行い、 健康経営優良法人認定(経済産業省)を取得を目指す。		3			8			
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の種類・量など適切に分別し処理を行っている。(提携先の 産業廃棄物処理事業者とリサイクル活動を実施)						11.6	12.4	14.1
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月請求される電気・ガスの内容を把握しながら使用量に気を 使っている。				7.3			13	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	自社で毎月の燃料・使用電力を把握。冷暖房の温度設定を従業 員に周知する事で温度管理の徹底を行う。				7.2 7.3			12.4 13.3	
14 境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用に取り組む様徹底している。現場でセメントを使用する際事前に検査を行い適切な使用に取り組んでいる。		3.9	6	5.3		11.6	12.4	
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自然環境に配慮した製品やサービスの提供を行う事で生物多様性 保全に配慮している。			6	5.6				15
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	各現場で無駄を無くす為、在庫管理の徹底を行う。							12.5	14.1
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水源を含む水利用状況を把握している。				6				

							主な	DGs (	(17ゴ·	ールと	169	ターゲット	卜)関	連項目		
カテ 非該ゴリ 当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1			4 5		7			10 11				
			併せ(記載してください。)	fréit.	<u>"</u>	3 SATURA	<b>I</b>	E MONETON	<b>*</b>	<b>***</b>	9 mem*	10	$\infty$	13 ::::::	<u></u>	16 333 8
<b>3</b>	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7				12	13.3 14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HP内で自社で開発した地盤改良工事の工法の特徴や性能を公開し、取組みに関する情報開示を行っている。										12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	事務所内の照明をLED化させ節電対策を行っている。 【予定】今後入替のタイミングでHV・EV車の導入を行い更なる再生 可能エネルギーの利用に着手していく。						7.2					13		
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	非合法材を使用していない事の確認を行っている。										12.2	13 14	15	
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等含む内容を就業規則に定めており、従業員へ 周知徹底を図っている。													16 16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む社内規制の整備と各現場へ会議を実施し周 知している。													16
公 正	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	地盤改良工法の特許を取得しており、知的財産の保護に努めてい る。							8.2 8.3	9					
な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護方針」に従って個人情報の利用目的を明確にし体制を整備している。													16
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社で取り扱う製品・材料は把握しており、紛争鉱物を取り扱っていないことを徹底している。													16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先や現場での対話を通じた人権侵害防止や倫理面で適切な対応や市場調査等の情報供給を行っている。				5			8		10	12	13 14	15	16 17
	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	品質方針の達成の為、現場に入る際に想定されるリスクの洗い出し や対策を徹底し、顧客から満足される品質提供を行っている。	,		3.9							12.4			
製 品 ・ サ	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	S09001の取得。 顧客満足度を上げていく為に、お客様の声を社内共有する事で、クレーム対応を徹底している。								9					
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	自社独自で開発した工法で地盤改良工事を行っており、粉体使用 と比較し固化剤の飛散をほぼ皆無にする等環境に配慮した工法の 開発に取り組んでいる。					6					12	13 14	15	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	現在自社で2つの工法で地盤改良工事を行っているが、今後もより 社会課題に配慮した工法の開発に取り組んでいく。	1	2	3	4 5	6	7	8	9	10 11	12	13 14	15	16 17

				5000		主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16													
	非該当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)		2 3		+ -											
	_		D. 170	併せて記載してください。)	188 2 8480	-W		s	ঁ	**	m I	10 x25*** (\$)	11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	•	15 ***** 16 ****************************	₩ W			
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	県や松川村と提携し、地元の除雪活動を行っている。			4					9	11 12	14	15	17			
地域貢献・		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元の中学生向けに自社の仕事内容や実技の講義をすることで職場体験の機会を提供している。			4						11	14	15	17			
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	地元人材の採用を継続的に行う。 公共工事に入る際地元の県産材の使用。							8	9	11 12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・品質方針など明文化している。事業活動・方針等社員 へ周知徹底を行う。							8	9				17			
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	定例会議や研修を通してコンプライアンスの重要性を発信している。											16	6			
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	各現場に責任者を配置し、体制を構築している。											16	6			
<sup>38</sup> 組 織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	現場の打ち合わせから施工後のメンテナンスに至るまで利用者との 対話を意識し、適切な対応を心掛けている。											16	6 17			
体 39 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ハザードマップ・リスクマップ等を活用しリスクを洗い出し、予め適切 な対応を打ち合わせしている。											16	6			
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備している。											16	6			
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続力強化計画の認定を取得。 【予定】事業継続計画(BCP)の策定。								9	11	13 13.1	16	6			
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	前代表取締役社長から事業承継が完了し、新体制となっている。 今後も後継者育成計画を作成し、事業継承に関する対策を検討していく。							8	9				17			

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組 1	2	3	4	5	6	7	8	9 1	0 1	1 12	2 13	14	15	16 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)